

世界遺産

# 中尊寺

岩手・平泉



「みんなが  
平和にくらせますように」  
「みんなが  
幸せにくらせますように」

中尊寺の鐘の音が  
清衡公の想いをのせて  
宇宙のはてまで響きます

中尊寺事務局  
岩手県西磐井郡平泉町平泉字衣関202  
TEL 0191-46-2211  
www.chusonji.or.jp

## 世界遺産

「平泉 仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」は平成23年、世界文化遺産に登録されました。

仏国土とは、苦しみや争いのない世界です。中尊寺・毛越寺などの寺院建築や庭園、数々の遺跡は、奥州藤原氏がめざした誰もが安らかに暮らすことのできる平和な国づくりへの想いを今に伝えています。

九百年が過ぎた今日でも、人々が求める世界の平和は実現されていません。そして、いつの時代でも人々が平和を願う気持ちに変わりはないのです。

## 写経



中尊寺には、紺色の紙に金色の文字で書かれた「中尊寺経(国定)」がのこされています。

写経とは、お経を書き写すこと。印刷技術のない時代には、書き写すことが書物を広める唯一の手段でした。

仏様の教えであるお経の二文字ずつを仏様自身と想いついていかに書き写すことで、自らの心も浄められます。やがて写経に集中して取り組んでいる自分に気がつくでしょう。

## 坐禅



坐禅は、インドのお釈迦様の時代からつづく瞑想修行のことで、天台宗では「止観」といいます。止まって観るのは自分の心です。

僧侶の指導を受けながら姿勢を正して座り、自分の呼吸を数えることに集中しておこないます。

日常生活の中には情報があふれていて、静かに心を休める時間がありません。坐禅を通して雑念を払い、心を整える時間をつくってみましょう。

緊張する必要はないだよ



中尊寺では  
法要や坐禅、写経を  
行っています。

中尊寺は、  
17のお寺が集まって  
出来ている、一山形式の  
お寺です。

藤原清衡公は  
この世のすべての  
生きものが平和に  
暮らせるように  
祈っていたん  
だね

金色堂に納められていた棺から、  
ハスの種が見つかりました。  
800年以上もの眠りから覚めて、  
今でも花を咲かせています。  
(7月中旬～8月中旬)

今でも  
藤原四代  
のご遺体が安置  
されているよ

能舞台  
のうぶたい

白山神社  
しらねのしろ

鐘楼  
しやうろう

中尊寺本堂  
ちゆうじゆうほんどう

山門  
さんもん

金色堂  
こんじきどう

讚衡蔵(宝物館)  
さんこうざう(ほうぶつかん)

本堂  
ほんどう

本堂は、中尊寺の中心となる建物で明治42年(1909)に再建されました。昔から伝わっている法要儀式の多くは、この本堂で勤められています。



金色堂  
こんじきどう

中尊寺で九百年前の姿を現代に残す唯のお堂です。お経に説かれる阿弥陀如来の世界を再現するために、平安時代の工芸技術が駆使されています。金色のお堂に目を奪われますが、夜光貝の螺鈿細工で表される極楽の草花、金工で表された孔雀時絵で表された菩薩像などにも注目してみましょう。



経蔵  
きやうざう

御経が書かれた巻物を保管していた御堂です。昔は一階建ての御堂でしたが、建武4年(1337)の火災によって二階部分を焼失してしまいました。



讚衡蔵  
さんこうざう

讚衡蔵は奥州藤原氏の残した文化財3,000点あまりを収蔵する宝物館で、平安期の諸仏、国宝中尊寺経、奥州藤原氏の御遺体の副葬品などが納められております。平安時代奥州藤原氏によって造営された、往時の大伽藍中尊寺の様子を今に伝えます。

